

4 昨年の反省点 ～近年田植えの開始時期が早くなっています～

◎ いなば管内のコシヒカリの田植始期(田植えを始める時期)は、年々早くなっており、H28 年からは4月下旬となっています(図1)。特に昨年心白・腹白粒が要因で格下げとなった地区では、田植えの開始時期が早くなっていました(図2)。

このため、コシヒカリの育苗計画の見直しや、「てんたかく」や「てんこもり」を作付拡大する等、早すぎるコシヒカリの田植えを避けましょう。

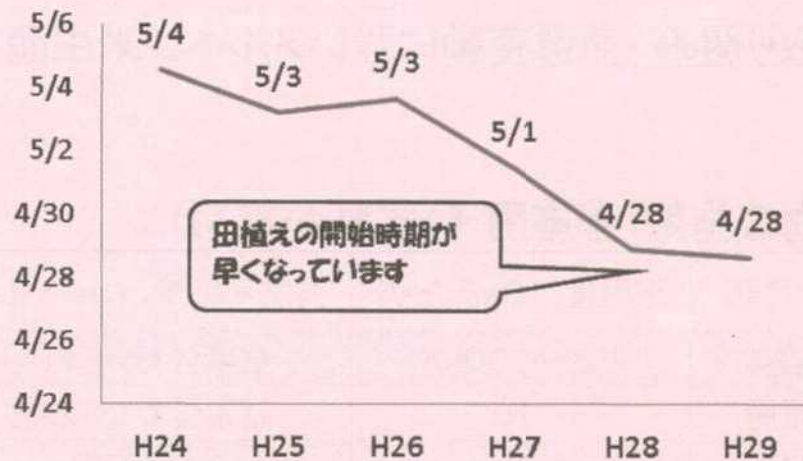


図1 年度別田植始期の推移(JAいなば平均)

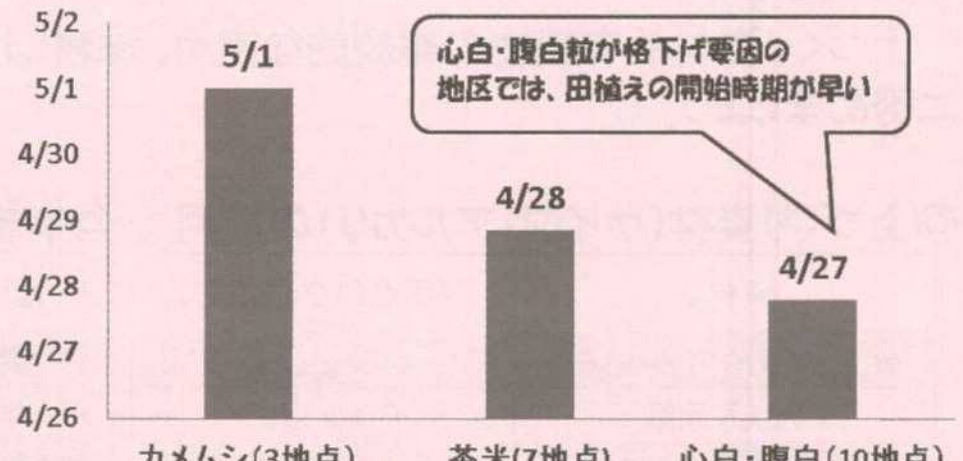


図2 地区別格下げ主要因ごとの田植始期平均(H29)

5 GAP の取組みについて ～GAP とは「よい農業の実践」です～

◎本格的な農作業に入る前に、昨年の作業時に危険を感じた農作業の把握や農場内の点検等を行い、事故を未然に防ぐとともに、GAP への意識を高めましょう。

<GAP の取り組み事例 1>

【操作マニュアル等に基づく機械等の適正使用】

気付・改善

<GAP の取り組み事例 2>

【ほ場の位置、面積等に係る記録の作成、緊急連絡網の掲示】

気付・改善

☆平成30年産米栽培がスタートします。

水稻栽培管理記録表の記入やGAP活動を実践し、安全で安心なメルヘン米の生産を行いましょう！